

3 自己評価及びこども園関係者評価結果

(1) 自己評価

＜本年度の重点目標＞

- ① 保育の計画性と職員間の共通理解をはかる。
- ② 教師との信頼感に支えられた生活の展開と幼児一人一人の特性に応じた指導をはかる。
- ③ 乳幼児の安全な生活、施設設備の安全管理に努める。
- ④ 教育の質の向上のために、園内研修や研修の充実をはかる。
- ⑤ 保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。
- ⑥ 地域との交流や、子育て支援事業の充実をはかる。

自己評価書 (教職員)

評価(A 十分達成された B 達成された C 十分ではない D 不十分である)

I 「教育及び保育の目標、計画性」について	評価点
教育課程を毎年見直しをし、学年では担当同士で月ごとと考えてはいるが、もう少し子どもの実態を考え、学年で考えるのではなく、全体の抑えとしてどうかということから、職員全体で話し合いをし、入園から卒園まで見通してもう一度、細かく見直していく。 公開保育を行ったことは、プラスになるので、今後も続けていきたい。 園児がまだ小さいので、安心感と信頼感を持って、活動に取り組めるよう声掛けや見守りに配慮してきたが、今後も安定した情緒の下で自己を発揮し、発達に必要な体験が得られるよう援助していく	B
II 「幼児への対応」について	
活動内容については、日々(毎年)考え直し活かしているが、環境構成についてできていないので、もっと子どもたちの主体性を聞き出せるような環境構成を考え、子どもたちが過ごしやすく、遊びや様々なことに興味を持てるように工夫し、話し合いをし、変えていく。 今年は、夏に職員で研修し、散歩コースをみつけ散歩マップもできたので今後も、積極的に出掛けていく。 個に意識がいきすぎるところがあるため、個と集団を意識した保育ができるように工夫していく。	A
III 「健康及び安全」について	
個別の配慮が必要な子に対しては、皆できちんと理解して対処していく必要があるので、正規職員だけでなく、全職員にしっかり連絡し、困ることがないようにする。ただ、そのファイルを個人情報の関係から、全クラスに置くのがいいのか今後、検討課題。 避難訓練は、実際には、お昼寝や早朝時にもありうることで、いろいろな時間帯にやることも必要かもしれないが、基本は「子どもたちがいつもどう行動する」ということが大切なので、先生たちがシュミレーションして、基本を徹底させることが大切。職員が、様々な状況を想定し、想定外のことが起こっても、一人ひとり判断できるような訓練も大切だと思う。 出席の掲示を統一し、ボードを使ったことにより、援助に行くクラスの基本的なことが、すぐに把握でき良かった	A
IV 「保育教諭としての資質や能力、良識、適正」について	
困ったことをもっとフランクに、みんなで話ができるといいと思う。話し合いの場を改めてとるのではなく、子どもから離れた時間等に何でもいいのでみんなで言い合えると、もっとコミュニケーションもとれていいと思う キャリアアップなど専門分野の研修に参加できとても勉強になった。など研修には参加したいと思っているが、なかなか自分から参加できなかったという思いが多かったので、研修の情報をただ流すだけでなく、園として指示をしていく必要があると思う。ただ、保育教諭の人員を考えるとなかなか難しいところもある。	A
V 「保護者への対応」について	
保護者の話をよく聞いて、対応する際の言葉遣いに気をつけ、相手の気持ちを受け止め、保護者からの要望・質問は些細なことでも、必ずクラス担任や他の保育教諭に報告したりした。子どもに関することも含め、自分でわからないことは、自分で判断せず、園長や主幹保育教諭の指示を仰いで確認してから答えるようにし、対応するように心掛けた。 保育参観、保護者会では、こちらからの発信をする場はあるが、クラス会等で意見を伝える場があると家庭の事や園の事についても理解を深められるのではと思うので、今後は検討していきたい。 2歳児と3歳児との保護者と保育教諭との連絡のやりとりギャップを感じる人が多いので、そこを園側として方法を考え、伝える必要がある。外国籍の子が多くなり、なかなか伝わらないことが多く、対応が難しいのが今後の課題。	A

Ⅵ「子育て支援事業・地域との交流」について

全体として2号に移行する子が増え、純粹の1号の預かりの子は以前より減っているが、今後は2号に入れなくて1号の預かりも増えてくる可能性も高く、1号の預かりも時間を延長したり、検討していく。 未就園児のお母さんたちの支援の場がなくならないよう、支援室開放やイベントは行ってきたが、参加者は年々少なくなり、また、1, 2歳児の利用が多くなってきている。職員もなるべく対応するよう気をつけ、親子の支援になるように努めた。 また、地域の交流としては、おせっかいの会や、花畑の会など、上本所の方たちも園のことを気にしてくださっているので大変ありがたい。また、駐車場の事で大変お世話になっていて助かる。	A
---	---

(2) 学校関係者評価

学 校 関 係 者 評 価 書

Ⅰ「教育及び保育の目標、計画性」について	評価点
玄関のところのモニターに子どもたちの様子を流してもらえると、子どもの様子や給食の献立が分かって嬉しい。 公開保育は、すばらしい取り組みだと思いますので、続けていってほしいです。	A

Ⅱ「幼児への対応」について	
園長先生が、玄関に立っていてくれるので、困ったことも聞かやすいし、子どもの名前を呼んでくれるのも嬉しいと思います。 動画による研修は、書面より伝わりやすいから、いいと思います。 マンネリ化をしないように、常に考えてくれていることは大事です。 先生たちが無理のないように、負担になりすぎないようにしてください。	A

Ⅲ「健康及び安全」について	
地震や火事など、突然に起こる事ばかりで大変だと思いますが、安全についていろいろ考えてくれていて安心です。 各部屋の出席ボードは、いいなと思います。外で遊んだ後の人数チェックなども、合わせて注意していってもらいたいと思います。 個人情報の問題は確かにあるが、情報の共有は大切なことであると思うので、管理等を含め、慎重に対処してほしいです。	A

Ⅳ「保育教諭としての資質や能力、良識、適正」について	
危機管理体制を高めるという意味でも、先生方のコミュニケーションは、大事だと思います。 マンネリ化するわけでもなく、新たな試み、勉強をしていってほしい。 研修をすることは大切なので、先生が研修に行くと先生がいなくなってしまうという状況に対して、市で派遣するような制度をつくったらどうなのでしょう。	A

Ⅴ「保護者への対応」について	
先生方の保護者に対する対応はとても丁寧だと思うので、厳しい意見があったとしても、今までどおりの対応でいいと思います。 ある程度の期間、園を開放し、来れる日に来るといふ自由参観をやってらどうか。普段の子どもの様子が知りたいという保護者の気持ちはあると思います。	A

Ⅵ「子育て支援事業・地域との交流」について

異年齢交流できる夕方の時間は、大切な時間だと思う。 支援室開放も、子育てで悩んだり、孤独を感じているお母さんたちの助けになると思う。 他園との交流することがあるといいな、と感じた。 地域の方々の考えてくれるイベントも、とても楽しみだし、交流することはとても大事で、ありがたいと思います。	A
---	---

<今後に向けて>

全体的に、先生たちの頑張りや、園運営を好意的に見てくださり、とてもありがたかった。特に、今年は保護者からの意見がいろいろあったが、園としての立場や思いを自信を持って伝えれば、何も間違っていないということを言っていたら、とても力強かった。園に関心を持っていたら意見もあると思うので、保護者の声にはしっかり耳を傾けるが、園からの発信もしっかりして伝えることが一番必要かなと感じた。 先生たちも、研修が必要ということは分かっているが、長い時間子どもがいる中で、どう効率よく研修できるかが今後の問題でもある。 また、先生たちの連携が、心の余裕にも関係し、それが良い保育にもなるので連携をしっかりしていきたいと思う。 職員全員で子ども一人ひとりに目を向け、良い教育、保育ができるよう進んでいきたい。
--